

クリーンエアアジア(CAA)

文責:IGES

概要

クリーンエアアジア(CAA)は、アジアにおけるよりよい大気環境と住みやすい都市づくりを目指す非政府組織である。大気環境・交通・工業・エネルギー分野における政策やプログラムを通じて、1000以上のアジアの都市において、大気汚染改善や温室効果ガスの排出削減を実現することを目的としている。具体的な活動として、政策やプロジェクトの立案・実行、都市の行政官の能力開発、大気汚染や気候変動が都市に及ぼす影響についての情報提供等を行っている。活動に当たっては、各国のエネルギー・環境・厚生・交通関係の省庁や、都市・民間セクター・開発機関・学術界・市民社会と協力しつつ、大気環境・気候変動・低炭素な都市づくり・クリーン燃料と自動車・環境に優しい貨物輸送及び物流といった分野で情報提供をしている。多様な組織とのパートナーシップの精神に基づき、科学的裏付けのある、実効的で長期的視点に立った政策の提言・実行がCAAの特徴である。

CAAの前身であるアジアの都市大気環境に関するイニシアチブ(CAI-Asia)は、アジアで最初の大気環境ネットワークとして、アジア開発銀行、世界銀行、及び米国国際開発庁(USAID)により2001年に設立された。多くの自治体や民間企業等の支援を受けて、2007年からは非政府組織として活動し、2011年には組織名をクリーンエアアジア(Clean Air Asia, CAA)とした。

CAAは、フィリピン・マニラにある本部のほか、中国・北京及びインド・デリーに事務所を設置している。2002年以来、隔年でBetter Air Quality(BAQ)という会議を開催しており、1000人を超える政策立案者、行政関係者、産業界のリーダーが集い、清浄な大気と住みやすい都市のための解決策を議論している。また2008年以来、CAAはアジアおよび世界における約250の組織から成り、6カ国(インドネシア・マレーシア・ネパール・フィリピン・スリランカ・ベトナム)にネットワークを持つパートナーシップとして、国連の認定を受けている。

組織

9人の理事で構成される理事会が全体を監督している。理事会と正会員は毎年会合を開く。所長と副所長は、クリーンエアアジアを運営するとともに、他のパートナーシップ・国とのネットワーク、アドバイザーとの関係構築を担当する。中国事務所長とインド事務所長は、各プログラムの主任者や、交通主任者、財政管理主任者とともに、各事務所の運営や国のネットワーク管理を担当する。プログラムマネージャーは、各プログラムやBAQを含むプロジェクトの計画立案や管理を担当する。専門家や研究員はプログラムや関連活動をサポートする。

会員制度

都市・政府機関・非政府組織・研究機関・国際機関・民間セクター・個人は、クリーンエアアジアの正会員(Center member)になることができる。正会員は、投票会員・非投票会員・寄付者の3種類がある。全ての会員権の申請は、理事会による承認を必要とする。理事、CAAパートナーシップのメンバーに選ばれた組織の代表者、そして1年間に10万ドル以上寄付した組織は、投票会員になる。1年間に1万5千~10万ドルを寄付した組織は、非投票会員になる。プロジェクトやプログラムに資金提供したその他の機関は寄付者になる。

民間企業は、ダイヤモンド(30,000 ドル)、プラチナ(15,000 ドル)、ゴールド(7,500 ドル)の3つのコースから選択し、大気環境や交通、気候変動に関する政策立案者や政策担当者が集う中心イベントである BAQ のスポンサーになることができる(費用は BAQ の回ごとに変更あり)。スポンサーは、入場権を付与され、会場でブースの設置ができるとともに、企業ロゴが BAQ の広報資料に掲載される。年間 50,000ドルで、正会員権と BAQ スポンサー(ダイヤモンド)の両方が得られる。

CAA の正会員の利点

- CAA ウェブサイト・年間報告書・パンフレット・関連会議等で正会員として認知される。
- 自らに関連の深い CAA の活動や行事の更新情報が手に入る。
- CAA の情報データベースや印刷物・ニュースレター等の関連資料が閲覧できる。
- CAA の活動においてパートナーとしての戦略的な協力が得られる。
- CAA のビジネス計画に参画できる機会を得られる。
- 毎年の CAA 会員会議に参加できる。
- CAA が擁する専門家・政策立案者・その他ステークホルダーのネットワークに参加できる。

連絡先: center@cleanairasia.org